

# 高森町史跡 松岡城跡 おさんぽマップ



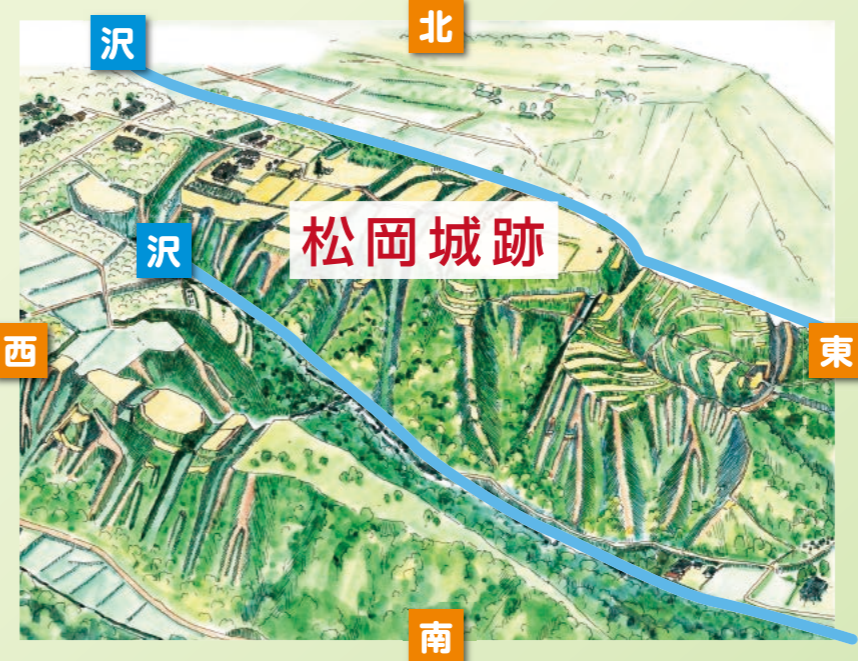
高森町教育委員会

## 1 城の特徴

松岡城が作られたのは南北朝時代(今から650年くらい前)の頃です。敵の攻撃を防ぐことが城の大きな役割でしたので、階段状の地形(河岸段丘)をいかして、丘の先に作られました。自然の地形だけでは弱い部分があるため、地面を掘って堀にしたり、土を盛って土塁にしたりして守りを強くしました。このように松岡城は土でできた城です。戦国時代まで整備されていきました。大きな石垣や天守がある城ができるのは、もう少し後の時代です。

### 「方角ごとの特徴」

- 南・北：沢(北：間ヶ沢川、南：銚子ヶ洞)にはさまれ、城まで急な斜面なので、守りが強くなっています。
- 東：ゆるやかな斜面になっているため、城を守るための仕組みがたくさん作られています。
- 西：平らで攻められやすいため、深い堀をいくつも掘って守りを強くしました。



## 2 松岡氏

平安時代に松岡氏がはじまったといわれています。今の高森町のあたりを中心に治めました。南北朝時代に松岡城を作り拠点としていましたが、戦国時代の終わり頃、徳川家康により改易(とりつぶし)となりました。



小学生が描いた戦国武将

## 3 亀之丞(井伊直親)

徳川家康に仕え、徳川四天王と言われて活躍した井伊直親の父親です。9歳の時に命をねらわれて、井伊氏とつながりがあった松源寺に逃れ、10年間を過ごしました。松源寺は松岡氏ゆかりの寺であるため、亀之丞は松岡城に訪れていたかもしれません。

### ～亀之丞物語～

高森中学校美術部有志と高校生が作りました。亀之丞や関わりがある文化財をマンガ風に紹介しています。小中学生が身近な歴史を学ぶ教材として使われています。



亀之丞物語 → (町ホームページ)



## 本曲輪からの景色



本曲輪の先には、南アルプスや天竜川、河岸段丘の景色が広がっています。山の高さ(標高)で日本第2位の北岳、第3位の間ノ岳を見ることができます。11～4月頃は南アルプスに雪がかぶりますが、特に桜の花が咲く4月初め頃はきれいです。

## 4 地域に親しまれる城跡

### 1 松岡城址愛護会

松岡城跡を大切に想う町民により、平成13年に作られました。草刈りや枯れ枝の片付け等の管理、春と秋に松岡城を知ってもらうためのイベントを開催しています。

#### (1) 鯉泳ぐ松岡城址新緑の会

毎年4月下旬に開催しています。地元音楽団体による演奏会、地元の団体と高校生による野点を行っています。



#### (2) 松岡城秋の陣

親子が松岡跡の魅力を体験しながら楽しく学びます。城跡の枯れ枝拾いや弓矢の体験、戦国時代の戦いを体験します。



### 2 小学生の遠足

高森町内の小学生が遠足に訪れ、地域の歴史や文化財を学んでいます。

## ～松岡城の守りの強さを体験～

子どもたちが攻める側と守る側(松岡城)に分かれて、戦いの体験をしました。場所は二の堀です。攻める側は堀を登って松岡城を攻めようとしますが、守る側(松岡城)が堀の上から攻撃したため、攻め落とすことができませんでした。堀があると攻めにくいことや、松岡城の守りの強さがよく分かりました。



松岡城から堀の中を攻撃



堀から見上げる松岡城は高い!

## 5 アクセス



駐車場 松源寺の近くに20台分があります。(マップをご覧ください)

制作 長野県高森町教育委員会  
協力 松岡城址愛護会  
〒399-3193 長野県下伊那郡高森町下市田 2183-1  
電話：0265-35-9416 FAX:0265-35-2973  
メール：bunkazai@town.nagano-takamori.lg.jp

# 松岡城跡おさんぽマップ

## おさんぽコース (松源寺山門発)

### ①見晴らしコース

地図色:水色  
時間:片道徒歩10分  
距離:片道300m  
標高差:4m  
特徴:景色を楽しむ

### ②松岡城主コース

地図色:オレンジ・水色  
時間:徒歩60分  
距離:1.8km  
標高差:95m  
特徴:城を深く知る

←至広域農道

西

東

北

南

●横矢掛  
城の入口に集まる敵を攻撃しやすくするために、段差が付けられています。

●松源寺の桜  
樹の形が良いエドヒガンザクラ。人気があります。

●帯曲輪  
松岡城の兵士が敵を攻撃するための場所として、斜面の途中に平らな部分をたくさん作りました。

●虎口  
敵を防ぐため、土を盛って入口をせまくしてあります。左右は深い堀にして、出た土を盛ることで土塁にしています。

●竪堀  
敵が斜面を横方向に移動することを防ぐために作られた堀。出た土を脇に盛ることで土塁にしています。

●切岸  
敵が登れないように、斜面をけずって急にしています。

●五の堀  
松岡城の一番西側にある堀。もっとも深くなっています。当時は10m以上あったと考えられます。

●曲がり通路  
一度にたくさんの敵が攻められないように、道を曲げています。

夏は蚊に注意!

自然がいっぱい

絶景!!

春は桜、秋は紅葉がきれい

冬は葉っぱでふわふわ

松岡南城

市場口  
→至 市田柿  
発祥の碑

## 城の主な仕組み

- 1) 曲輪**  
堀に囲まれた平らな部分です。松岡城には大きな五つの曲輪と小さな帯曲輪がたくさんあります。年代が新しくなると、丸(本丸等)と呼ばれます。
- 2) 堀**  
地面を掘って大きな溝にすることで、敵が攻めづらいようにしています。西側を中心に多くの堀があります。
- 3) 土塁**  
曲輪のまわりに作られた土手です。敵や矢が城に入ることを防ぎました。堀を掘ったときに出土を盛りました。



左側:二の曲輪、右側:三の曲輪



土塁  
曲輪 堀 曲輪 堀 曲輪

●表紙とパンフレットの中にある「亀之丞」は、高森中学校美術部の生徒が描いたものです。

●桃子ヶ洞  
↓至 下市田4区  
生活改善センター